

平成 29 年松本市議会第 3 回臨時会

市長提案説明

[29.10.31(火) AM10:00]

本日ここに、平成 29 年松本市議会第 3 回臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆様方には、おそろいでご出席をいただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、去る 23 日明け方に、松本市に最接近いたしました、超大型の台風 21 号は、市民生活への影響が大変心配されましたが、倒木等による一部国道の通行止めなどはあったものの、幸いなことに、松本市においては、人的被害はございませんでした。

このような台風の中、22 日に執行されました衆議院議員総選挙におきましては、結果として、与党が 3 分の 2 の議席を占めることとなり、首相の指名は、明日召集の特別国会によりますが、引き続き、安倍現政権による政権運営が行われると報道されているところでございます。

私といたしましては、政権与党におかれましては、この度の選挙結果に慢心することなく、真摯に、謙虚に国民の声を聞き、国民の平和と安全、暮らしを守る政治に努めていただきますことを切に願うものでございます。

さて、本日をもちまして 10 月も終わりとなるわけですが、今月の 1 日に開催されました「第 1 回松本マラソン」は、絶好の秋晴れの下、国内外の 10 代から 80 代までの幅広い世代にわたる 8,611 人のランナーが、城下町の風情や田園風景を楽しみながら、秋の松本平を駆け抜けました。

お陰様で、大きな混乱や事故もなく無事終了することができ、これもひとえに、大会の成功に向け、事前の準備や当日の運営に多大なるご尽力を賜りました関係機関や塩尻市を始め、大会当日の交通規制にご理解をいただきました

大変多くの皆様方のお陰であり、改めて心から感謝申し上げます。

大会終了後、ランナーの皆様からは、「沿道の応援が力になった」というお声や、「ボランティアの皆さんが笑顔で激励してくれた」などの大変嬉しいお声をたくさんいただきましたが、これも、大会当日、コース沿道で途切れることなく暖かい声援を送っていただきました市民の皆様や、大会の運営を支えていただきました議員の方々を始め、ボランティアの皆様のご尽力によるものであり、改めて松本市民が持つ、質の高いおもてなしの力を実感したところでございます。

大会開催前は、第1回ということもあり、少なからず不安もございましたが、たくさんの皆様から「良い大会だった」とのお声をいただき、来年度の第2回大会の開催に向け、「健康寿命の延伸」並びに「生きがいの仕組みづくり」を推進する、松本市ならではの特色ある大会へと育て、新たな松本のスポーツ文化として定着させてまいりたいと、思いを新たにしました次第でございます。

今後は、質の高い大会運営を重ねることで、「松本マラソン」が、国内外のランナーの皆様の憧れの大会となりますよう、引き続き開催内容に磨きをかけてまいりますので、議員を始め、市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

次に、昨日から松本市において開催されております、「第1回食品ロス削減全国大会」について申し上げます。

今や世界的課題でもあります、食品ロスの一層の削減を目指して、国と地方が連携して取り組むため、昨日、まつもと市民芸術館において、食品ロスの問題に国の先頭に立って取り組む、環境省、農林水産省並びに消費者庁の共催の下、伊藤忠彦環境副大臣と森本英香環境事務次官にもご臨席いただき、「第1回食品ロス削減全国大会～広げよう30・10 inまつもと～」を開催いたしました。

昨日の大会では、様々な視点から食品ロス削減に対する

ご助言をいただくため、エストニア出身で元大相撲大関の把瑠都さんから、母国の取組みについてお話を伺うなど幅広い分野のゲストをお迎えし、ご講演いただくとともに、行政と事業者、消費者の皆さんが一体となって、食品ロス削減の意識の醸成を図ることを目的に、パネルディスカッションを行うなど、多彩な内容の大会となりました。

この大会にご参加いただきました皆様にとりましては、食品ロスが国際的な問題であることや、今後の食品ロス削減の取組みに向け、改めて認識を深めていただく機会になったものと受け止めております。

大会の最後には、10月30日を「食品ロス削減の日」として、参加者がそれぞれの立場で取組みを進めることを宣言するとともに、来年の全国大会を、京都市において開催することが発表されました。

本日も、関係する3つの省庁のご協力の下、自治体職員を対象とした研修会が行われており、国と自治体職員が情報を共有し、相互に協力することにより、食品ロス削減の取組みが国内外に広がり、この動きの機運がより一層高まることを期待しております。

次に、「健康が人と地域をつなぐまち」をテーマに、来月16日と17日の2日間に渡って開催いたします。「第7回世界健康首都会議」について申し上げます。

今年の会議では、「健康」を切り口に、人と人、人と地域、地域と医療、医療と産業など、様々なものを「つなぐ」ことの重要性や先進性ととともに、健康情報を扱うICT基盤など、将来に向けた社会インフラの必要性などを取り上げることといたしております。

海外基調講演では、オランダ王国から講師をお招きし、国民が健康増進への自助努力をする、「参加型社会」への転換を図りつつある同王国において、国を挙げて取り組むプロジェクトを、「政策」、「住民」双方の観点から期待される効果や、未来への展望についてご講演いただきます。

また、パネルディスカッションでは、三菱総合研究所理

事長の小宮山宏氏をコーディネーターとして、医学博士であり経済学博士でもある多摩大学大学院教授の真野俊樹氏や、福岡県久山町で、50年以上にわたり地域住民を対象に定期健康診断を行い、脳卒中などの疫学研究を進めている久山町ヘルスC&C（チェック&ケア）センター長で、九州大学名誉教授でもある清原裕氏などをパネリストとしてお迎えし、市民一人ひとりの健康づくりや、安心・安全に暮らすことができる持続可能な社会システムの在り方などについて、高い見地からお話しいただくこととしております。

本年も健康づくりと産業の振興を目的に、市民の皆様の参加しやすさに配慮しながら、学びの場の提供と国内外への発信を行ってまいりますので、議員の皆様におかれましても、是非、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

さて、「イオンモール松本」のグランドオープンから一カ月余りが過ぎ、連日多くの皆様が買い物などを楽しむ姿を見受けることができます。

懸念されておりました市街地の交通状況につきましては、「イオンモール松本」の周辺道路では、一部渋滞が発生し、また、イベントの実施や天候による影響もあり、雨天時には混雑の範囲が広がることもありました。市街地の広範囲に及ぶ交通渋滞は生じていないのが現状でございます。

なお、来月3日には、市民祭による交通規制もありますことから、引き続き、関係機関の皆様と連携し、対策を講じてまいります。

また、松本周遊バス「タウンスニーカー」の増便により、バス利用者が増加するとともに、中町や日ノ出町を歩く多くの方々を目にするようになりました。

本格的な検証は今後になりますが、これまで松本市が取り組んでまいりました交通対策に、一定の効果があると考えられますことから、今後も引き続き、公共交通や自転車、徒歩による来店を呼び掛けてまいります。

それでは、ただいま上程されました議案につきまして、ご説明申し上げます。

本日提案申しあげました議案は、契約 1 件、専決処分の報告 1 件の合計 2 件でございます。

始めに、工事請負契約の締結 1 件につきましては、雨水による都市浸水被害の防止を図るため、平成 25 年から整備を進めております県第一雨水幹線に、貯留施設を新設しようとするものでございます。

また、緊急を要し、地方自治法第 179 条の規定により、去る 10 月 4 日付けで専決処分いたしました、平成 29 年度一般会計補正予算をご報告申しあげております。

これは、先ほども申しあげました衆議院解散に伴い、去る 10 月 22 日に執行されました、衆議院議員総選挙に係る経費を計上したものでございます。

補正額は 6,800 万円の追加で、これにより、補正後の一般会計の予算規模は、911 億 182 万円、前年同期比では、1.9 パーセントの増、全会計では、1,751 億 8,175 万円で、前年同期に対し、0.8 パーセントの増となりました。

そのほか、議案以外のものとしたしましては、市長の専決処分事項の指定にかかわる報告 6 件を報告いたしております。

以上、本日提案いたしました議案等についてご説明申しあげましたので、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

(以上)